

現代の書写

一

二

三

三省堂

令和7年度版『現代の書写 一・二・三』 学習内容一覧

※ダイジェストでは、囲みの教材の一部を紹介しています。

本編



一年

この教科書の使い方
自分の文字をよりよくするために
学習のはじめに

【国語】「朝のリレー」 谷川俊太郎



【1】楷書

字形の整え方と筆使い 書き方を学ぼう 「天地」

書いて身につけよう 字形の整え方（点画の組み立て・部分の組み立て・外形）

◆【国語】活字と手書き文字・筆順

【2】楷書と仮名

仮名の字形と筆使い 書き方を学ぼう 「いろは歌」

文字の大きさと配列 書き方を学ぼう 「暑き日を海に入れたり最上川」

書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列

【国語】「空中ブランコ乗りのキキ」「レポート」

◆文字の変遷

【3】行書

行書の特徴

点画の丸み 書き方を学ぼう 「名月」

点画の連続 書き方を学ぼう 「元氣」

点画の形や方向の変化 書き方を学ぼう 「探究」

書いて身につけよう 点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化

【国語】「竹取物語」「少年の日の思い出」

【国語】やってみよう グループ新聞を作ろう

二年

【1】行書

点画の省略 書き方を学ぼう 「親和」

筆順の変化 書き方を学ぼう 「紅花」

書いて身につけよう 点画の省略／筆順の変化

「四十七都道府県名」

【2】行書と仮名

行書と仮名の調和 書き方を学ぼう 「豊かな実り」

行書に調和する仮名 書き方を学ぼう 「いろは歌」

書いて身につけよう 行書と仮名の調和／行書に調和する仮名

【国語】「枕草子」「平家物語」「手紙・メール」

【3】楷書と行書

楷書と行書の使い分け

【国語】やってみよう 情報誌を作ろう

◆学力テスト問題

三年

【1】文字文化の豊かさ

身のまわりの文字

書いて身につけよう

身のまわりの文字

【国語】「おくのほそ道」「坊っちゃん」
名言集を作ろう 「未知へと歩む」

【国語】やってみよう

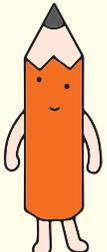
資料編

日常の書式

- 1 便箋と封筒の書き方
- 2 はがきの書き方
- 3 送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方

書写の広場

- 文房四宝
- (発展)書の古典
- 毛筆補充教材
- 楷書・行書一覧表
- 二次元コード一覧表
- 書き初め
 - 一年 「日進月歩」「輝く生命」
 - 二年 「燃ゆる思い」「大望を抱く」
 - 「温故知新」「平和の鐘」
 - 三年 「旅立ちの時」「山光澄我心」
- 「書き方を学ぼう」一覧



【国語】歌の言葉「群青」YOASOBI

▶教科書の特徴を動画でご紹介しています。

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/07gspr/movie/>

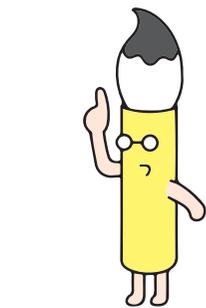


学習のはじめに

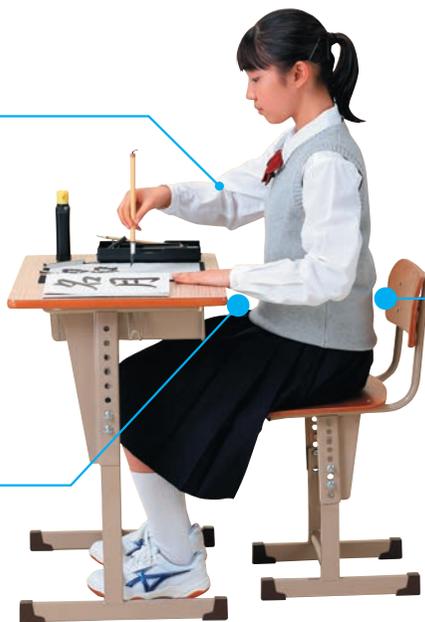
毛筆

文字を書く前に姿勢や持ち方を確かめよう。

● 姿勢と構え方



椅子と体の間を少しあける。



解説動画



● 大筆の持ち方

双鉤法(二本掛け)



人さし指と中指を筆の軸に掛ける持ち方。

単鉤法(一本掛け)

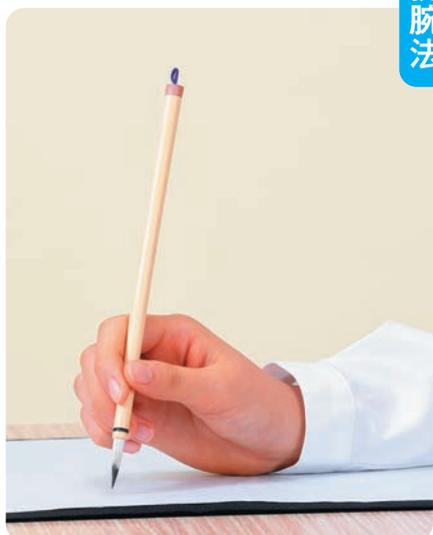


人さし指だけを筆の軸に掛ける持ち方。

● 小筆の持ち方・構え方

小筆の持ち方は鉛筆の持ち方に似ています。鉛筆より立てて持ちます。

提腕法



腕を軽く机に置いて書く方法。

枕腕法



筆を持たないほうの手を枕にし、手首をその上に乗せて書く方法。



毛筆・硬筆で書くときの姿勢や、持ち方など基本的な内容を確認できます。

文字の変遷

現代まで続く文字の歴史や文化を取り上げました。豊かな文字文化にふれ、文字を手書きすることの意義を見つめます。

漢字は中国で生まれた文字です。長い時間をかけてしだいに定着し、より書きやすく読みやすい書体へと変化していきました。日本に伝わると、漢字をもとにした、平仮名・片仮名という日本独自の文字が生まれ、漢字とともに定着しました。現代の日常生活においても、さまざまな書体が広く使われています。



甲骨文 (こうこつぶん)



古代中国の殷という国で使われた、最古の文字。亀の甲羅や獣の骨に占いの内容を記すのに使われた。

金文 (きんぶん)



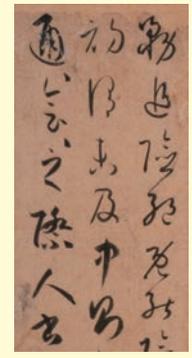
青銅器などの金属器に鑄込まれた文字。「金文」の「金」は金属器の意味。

小篆 (しょうてん)



秦の始皇帝が中国を統一(紀元前二二二年)したあとに制定した文字。

草書 (そうしょ)



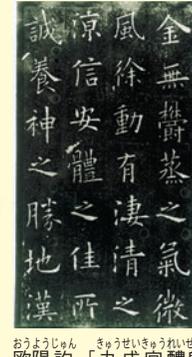
篆書や隸書を速く書くために生まれた書体。点画の連続や省略が多く、速書きに便利。

行書 (ぎょうしょ)



隸書を速く書くために点画を連続したり省略したりして生まれた書体。読みやすく、速く書ける。

楷書 (がいしょ)



五つの書体の中では最も遅くに成立した、現代の標準的な書体。

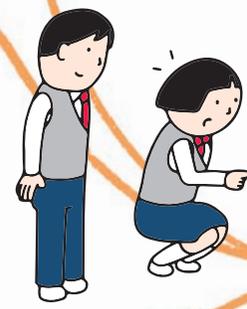
隸書 (れいしょ)



篆書を簡略化して書かれるようになった書体。

文字の成り立ちを、流れを確認しながら学習できます。

長い時間をかけて文字の文化が育まれてきたんだね。



中国で生まれた漢字が日本に。



看板や印鑑などで見かける書体もあるね。



平仮名



日本独自の文字。草書の点画をさらに簡略化してできた。

日本に伝わった漢字から仮名が生まれる。

片仮名



日本独自の文字。漢字のへんやつくりなどの片方を用いたり、楷書の点画を省略したりしてできた。



二次元コード参照先サイトでは、動画解説によって、文字文化への興味関心と理解を深めることができます。



探 究



点画の形や方向の変化を理解して書くことができましたか。

⑤教材で学んだことを振り返ります。



点画の形や方向の変化

- ⑦行書に調和する仮名
- ⑥行書と仮名の調和
- ⑤筆順の変化
- ④点画の省略
- ③点画の形や方向の変化
- ②点画の連続
- ①点画の丸み

3 点画の形や方向の変化

楷書

● 形の変化
次の画へ速く向かうように書く。

行書

● 方向の変化
前の画を受けたり、次の画へつながりるように書く。

②書き方のポイントをつかみます。

解説動画

楷書 探究



行書 探究

③書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているか見つけよう。

⑥硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにします。



目標

点画の形や方向の変化を理解して書くことができる。

①目標を確かめて学習の見通しをもちます。



書いて
身につけよう

点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向
の変化

毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。

毛筆で書いて習得したことを、他教科の学習や日常生活・
社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みペー
ジを全11教材分設けました。

姿勢に
気をつけよう



持ち方に
気をつけよう



名月

名月

元気

元気

探究

探究

毛筆で書いた字を硬筆でも練習します。



日 回
日 回
日 回

区 円
区 円
区 円

皿 町
皿 町
皿 町



なぞり書きで練習してから、自力で繰り返し書いて練習できます。

羊 推 写 学
羊 推 写 学
羊 推 写 学

庄 兄 多 作
庄 兄 多 作
庄 兄 多 作

主 田 覚 割
主 田 覚 割
主 田 覚 割



未 栄
未 栄
未 栄

京 原
京 原
京 原

受 突
受 突
受 突



比 化
比 化
比 化

考 老
考 老
考 老

風 純
風 純
風 純



書いて
身につけよう

国語

点画の丸み／点画の連続
点画の形や方向の変化

姿勢に
気をつけよう



持ち方に
気をつけよう



毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。

「竹取物語」

姫ひめ 竹取物語

姫

Blank box for writing

貴公子 竹取物語

貴公子

Blank box for writing

「故事成語」——「矛盾」

大器晩成 故事成語

大器晩成

大器晩成 故事成語

Blank box for writing

「トロッコ」(芥川龍之介)

風景 線路

風景

Blank box for writing

色彩しき 車輪くるま

色彩

車輪

Blank box for writing

「少年の日の思い出」(ヘルマン・ヘッセ) 「訳」高橋健二

宝物 少年

宝物

Blank box for writing

告白 収集

告白

収集

Blank box for writing

単元を通して学んだことが実際に活用できているかを書いて確認し、学んだことを自分の言葉でまとめます。



自分が学んだことを書き残そう。



振り返ろう

楷書

未知



行書

Blank box for writing

● 四十七都道府県名

鉛筆でなぞり書きしよう。

① 北海道
とうもろこし

② 青森
りんご

③ 岩手
わんこそば

④ 宮城
牛たん

⑧ 茨城
納豆

⑨ 栃木
ギョーザ

⑩ 群馬
こんにゃく

⑪ 埼玉
草加せんべい

⑫ 千葉
落花生

⑬ 東京
雷おこし

⑭ 神奈川
まぐろ

⑮ 新潟
米

⑯ 富山
ますずし

⑰ 石川
のどぐろ

⑱ 福井
越前がに

⑳ 山梨
ぶどう

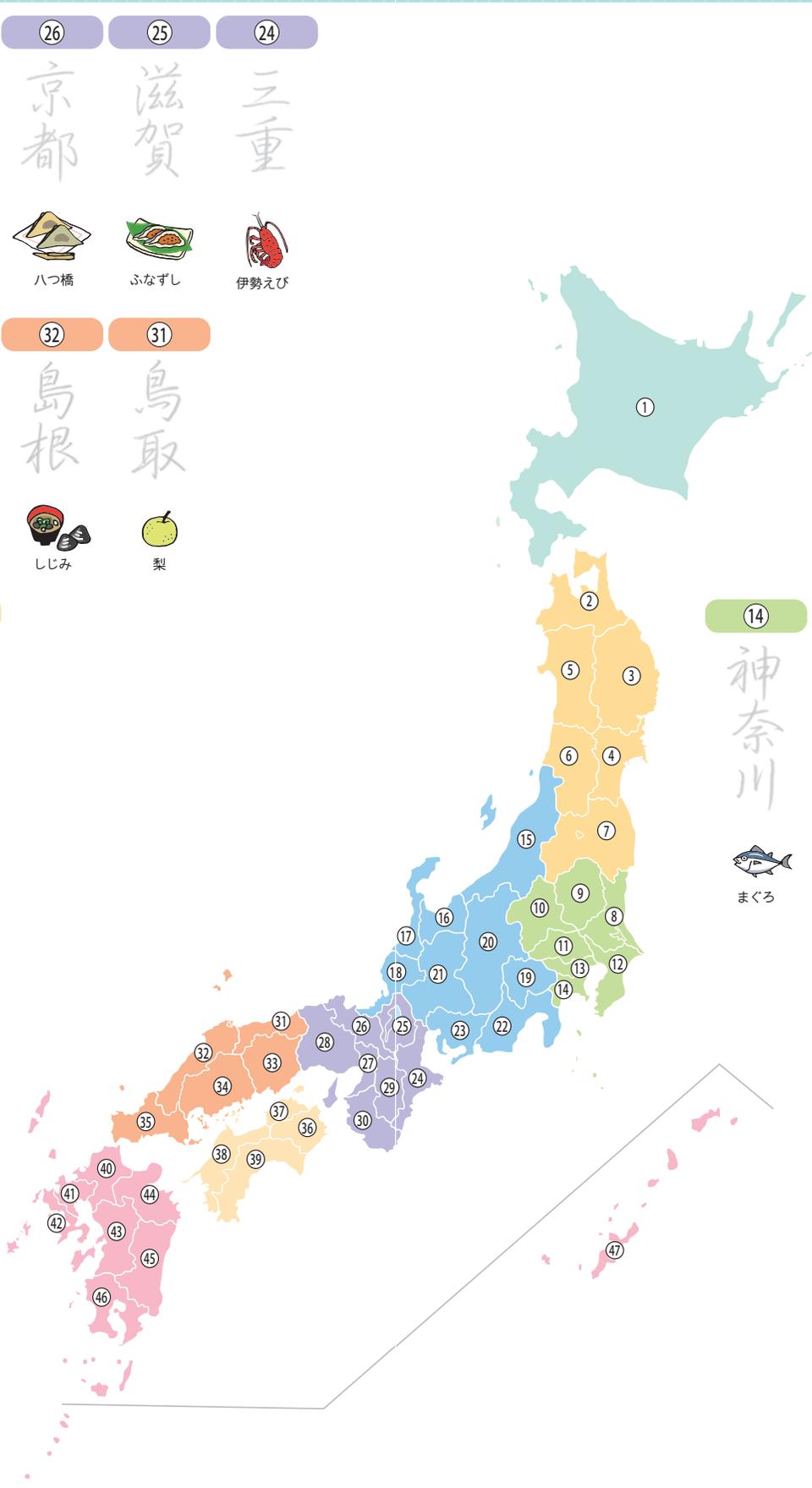
⑳ 長野
信州そば

㉑ 岐阜
柿

㉒ 静岡
お茶

㉓ 愛知
ひつまぶし

さまざまなタイプの書き込みページを設けました。学習指導書にワークシートも収録します。



②④ 三重
伊勢えび

②⑤ 滋賀
ふなずし

②⑥ 京都
八つ橋

②⑦ 大阪
たこ焼き

②⑧ 兵庫
丹波の黒豆

②⑨ 奈良
柿の葉ずし

②⑩ 和歌山
梅

③① 鳥取
梨

③② 島根
しじみ

③③ 岡山
もも

③④ 広島
かき

③⑤ 山口
ふぐ

③⑥ 徳島
すだち

③⑦ 香川
さぬきうどん

③⑧ 愛媛
みかん

③⑨ 高知
かつおのたたき

④④ 大分
あじ

④⑤ 宮崎
マンゴー

④⑥ 鹿児島
さつまいも

④⑦ 沖縄
ゴーヤ

④⑧ 熊本
すいか

④⑨ 福岡
辛子明太子

④⑩ 長崎
カステラ

「振り返ろう」内の課題は、全国学力・学習状況調査等をふまえて設定しています。

自分が学んだことを書き残そう。

行書
泰然自若

楷書

振り返ろう

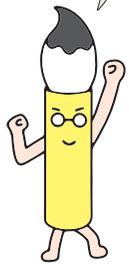
泰然自若「何が起きても慌てず落ち着いている様子」。

学習したことを意識して、楷書で書こう。

学カテスト問題

書写の学カテスト問題を掲載しました。教科書で学んだことを生かして取り組みます。

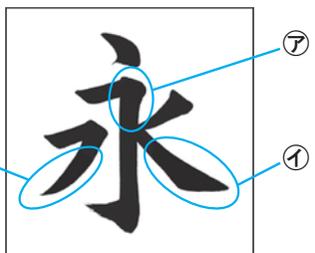
これまでに学習したことを生かして取り組みよう。



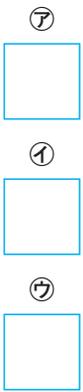
二 次の行書で書かれた文字について、○で囲まれたアからウに見られる特徴の組み合わせとして適切なものを、1から4までの中から一つ選びなさい。



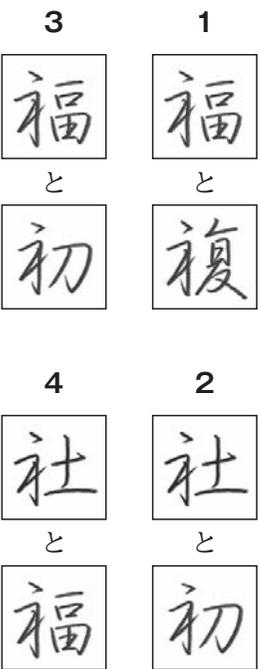
一 次の毛筆で書かれた文字について、○で囲まれたアからウの筆使いの説明として正しいものを、1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。



- 1 軸の傾きを変えず、大きな円の一部分を描くように筆を運び、なめらかなにねる。
- 2 徐々に筆圧を強め、筆をいったん止めて、力を抜きながら穂先をそろえるようにして払う。
- 3 ゆっくり斜めに筆を進め、力を抜きながら穂先をそろえるようにして払う。
- 4 筆をいったん止めて、下方向へ書き進める。



三 次のうち、同じへんをもつ漢字の組み合わせとして正しいものを、1から4までの中から一つ選びなさい。



- 1 点画の省略
 - 2 点画の省略
 - 3 点画の直線化
 - 4 点画の直線化
- 1 点画の直線化
 - 2 筆順の変化
 - 3 筆順の変化
 - 4 点画の省略
- 1 筆順の変化
 - 2 方向の変化
 - 3 方向の変化
 - 4 筆順の変化

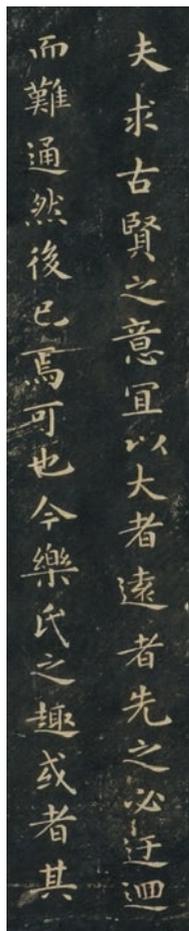


書写の広場

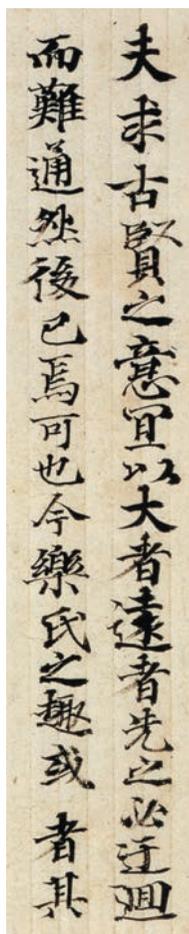
発展

書の古典

長い歴史とともに脈々と受け継がれてきた優れた筆跡は、書の古典と呼ばれ、私たちが学ぶときの手本となっています。古典を見て、書の表現を味わいましょう。



「楽毅論」王羲之
4世紀 東晋(中国)



「楽毅論」光明皇后
8世紀 奈良時代(日本)

※高等学校の学習内容。興味のある人は取り組みよう。



古典の書きぶりを見て、学びながら書くことを「臨書」といいます。上の図版は、書聖と称される王羲之の「楽毅論」と、それを光明皇后が臨書したものです。奈良時代には遣唐使によって、中国から書の古典が数多く伝えられました。伝統文化としての日本の書はこの頃から発展し、現代につながっているのです。

書き手の個性

行書

楷書



書き手が違つて同じ字でも個性が出るね。どの表現が好きか、理由をあげながら話し合ってみよう。



高等学校書道との接続を見据え、「篆刻」や、「書の古典」等の発展的な内容を紹介しています。



楷書

「に」を気をつけて、「と」のように書けばよいか」というポイントも、具体的な字例とともに10種類示しました。

二次コード参照先サイトで解説動画がご覧いただけます。



1 字形の整え方と筆使い ▼12ページ

点画の組み立て

<p>中心</p> <p>文字の中心を意識して書く。</p>	<p>長短</p> <p>画の長さによりはりをつけて書く。</p>	<p>間隔</p> <p>画と画の間が等間隔になるように書く。</p>
<p>方向</p> <p>点画の方向を意識して書く。</p>	<p>接し方</p> <p>筆順によって変わる接し方に注意して書く。</p>	<p>交わり方</p> <p>交わる位置に注意して書く。</p>

部分の組み立て

部分どうしの位置や大きさの関係を意識して書く。

<p>左右</p> <p>上下音</p>	<p>内外</p> <p>内外進</p>	<p>内外</p> <p>内外広</p>	<p>内外</p> <p>内外国</p>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

外形

文字の外形を意識して書く。

冬	目	天
寸	工	正

2 仮名の字形と筆使い ▼24ページ

- 結び** 穂先を小さく返す。
- 回転** 穂先を返しながから大きく回す。
- 曲がり** 筆圧を弱めてゆっくり書く。
- 折り返し** 来た道に戻るように折り返す。
- そり** 穂先が左端を通るように一定の速さで書く。

よ の と ひ

3 文字の大きさと配列 ▼26ページ

読みやすくするために、文字の大きさと配列を意識する。

- 文字の大小** 用紙に合った文字の大きさを考える。仮名や画数の少ない漢字は小さめに書く。
- 字間** 字間をそろえる。
- 行の中心** 行の中心をそろえる。
- 行間** 行が複数になるときは、行間をそろえる。
- 余白** 用紙の上下左右に余白を取る。書き出しの位置を考える。

具体的な書き方のポイントがひとめでわかります。

行書

楷書・行書どちらの教材にも設けています。

1 点画の丸み ▼34ページ

- 横画の丸み** 始筆は軽めに入れ、送筆は筆圧を弱め、終筆は次の画へ向かうように筆を運ぶ。
- 折れの丸み** 筆を止めずに、速度を落として方向を変える。

口 一

2 点画の連続 ▼36ページ

- 筆脈の連続** 次の画へ向けて、最短距離を移動する。
- 直接連続** 前の点画の終筆と後の点画の始筆を重ねる。

石 三

3 点画の形や方向の変化 ▼38ページ

- 形の変化** 次の画へ速く向かうように書く。
- 方向の変化** 前の画を受けたり、次の画へつなげたりするように書く。

大 係

4 点画の省略 ▼46ページ

点画が重なるように折り返して小さな点画を省略する。

楷書 福 計

行書 福 計

点画を変化・一体化させて省略する。

5 筆順の変化 ▼48ページ

楷書と筆順を変えて書くことで、移動の距離を短くしたりリズムをつけたりする。

楷書 無 取

行書 無 取

6 行書と仮名の調和 ▼54ページ

行書に調和する仮名は、流れるように書き、筆脈を意識する。

楷書に調和する仮名

空に吸はれし 十五の心

行書に調和する仮名

空に吸はれし 十五の心

不來方こころのお城の草に殺ころるびて 空に吸はれし 十五の心 (石川啄木)

7 行書に調和する仮名 ▼56ページ

- 連続** 楷書に調和する仮名
- 省略** 行書に調和する仮名
- 形や方向の変化**

れ し に

れ し に

巻末に折り込み形式で『書き方を学ぼう 一覽』を掲載しています。

